

⑥ さつまいも

【主な仕事内容】 ○定植 ○収穫 ○シール貼り
○箱折り ○展示

農土家園 (のどかえん)



住所: 霧島市牧園町高千穂3170-18

URL: <https://nodokaen.jp>

農業経営体の概要

(こだわり・理念) 土と人を耕す

- 経営面積 (栽培品目・作付面積)
施設野菜 (ほうれんそう12a)
露地野菜 (さつまいも2.2ha, ばれいしょ20a)
- 従業員
正社員 1 名
生活介護の利用者 (知的障害者) 5 名程度が屋内外で農園に携わっている。
- 施設・機械
ビニールハウス, 集荷場, トラクター, つる切り機, 2tトラックなど
- 販売先
契約販売, 鹿児島青果(株), 地元物産館など



農福連携を始めたきっかけ

- ダウン症の兄が地元旅館で週 4・5 日勤務している姿をみて, 兄がお世話になっている事業所に農福連携の相談をした (労力の確保)。
- 誰もが働きやすい環境づくりをしたいと考えていることもきっかけだった。

障害のある人が担う主な仕事内容

- 定植: 定植位置の穴あけ, 苗の差し込み, 散水
- 収穫: 芋の掘り出し, 集荷, 選別
- 箱折り: ジェラートの箱折り
- シール貼り: 化粧箱のシール貼り
- 展示: 出店に際したモニュメント作り

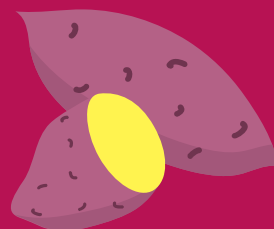
農福連携に取り組んで良かったこと

- 作業の細分化, オリジナルの自助具により, 老若男女問わず誰もが働きやすい環境づくりに毎年取り組めるようになった。
- 作業の効率化が図られた。
- 雇用できる人材の幅が広がった。
- 事業所の支援員も一緒になって, 利用者個々に応じた作業の選択, 改善に取り組んでもらうことにより, 一人一人ができることを見つけやすい。



【障害のある人が作業する際のポイント】 さつまいもの栽培・出荷準備

(作業内容：定植、収穫、箱折り、シール貼り)



1 定植



下穴あけ、苗の差し込み、定植後の散水

【ポイント】

定植の際、下穴を開ける人と苗を差し込む人を分業する。(習熟できるまでは差し込み角度と深さを矯正する自助具を活用)

2 収穫



トラクターで掘り起こした後の芋を集め、ツルから芋を外してサイズごとに選別する作業

【ポイント】

作業の改善点を『やって見せる』だけでなく『イラストで伝える』。(コミュニケーションメモという手法。必要に応じて。)

3 箱折り



シルクジェラート(芋のジェラート)の箱折り作業

【ポイント】

傷防止のためクッションシートを使用する。きれいに箱を折るために、折る手順を変える。

4 シール貼り



シルクジェラート(芋のジェラート)のシール貼り

【ポイント】

オリジナルの自助具を用意する。円形のシールは上下左右のバランスをとる必要があり、支援員さんが自助具を改良。

【その他にこんな工夫もしています】

- ・ イベント出店時、展示物を作成依頼
2304個の紙風船から成るピクセルアート。地域の方々も興味を引く展示で、農福連携の取組を紹介するきっかけを作っている。
- ・ 工賃の封筒にメッセージを残す

工賃は毎回、手渡ししており、利用者さんに『任された仕事を果たした』『社会の役に立った』という成功体験、達成感を実感してほしいと考えている。また、保護者にも働きぶりが伝わるよう、工賃の封筒に作業内容や本人の働きぶりをメッセージとして残している。『この職場なら、この子も役に立てる!』と安心してもらう工夫をしている。



⑦ ばれいしょ

【主な仕事内容】 ○ほ場準備
○収穫 ○出荷調整

株式会社オキス

住所：鹿屋市下高隈町5454-11

URL: <https://okisu.co.jp>

農業経営体の概要

(こだわり・理念) 地域にやさしい企業づくり

・経営面積(栽培品目・作付面積)

＜直営農場＞ 約30ha

〔大麦若葉 4ha, ごぼう8ha, 加工用ばれいしょ5ha,
ケール, ほうれんそう, イチゴ, さつまいも,
加工用ブロッコリー等〕

＜連携農家＞ 約200ha

露地野菜, ハウス野菜, 果樹園

・従業員

正社員55名

(就労継続支援事業所への作業委託や延べ100人以上／月の施設外就労の受け入れを行っている。)

・施設・機械

トラクター, トレンチャー, 畝立てマルチャー, 移植機, 冷蔵庫, 4 tトラック,
ユニック車, ビニールハウス, 野菜加工施設等

・販売先

小売店, インターネット販売



農福連携を始めたきっかけ

県農業法人協会では県外の農福連携の取組を視察してから、農福連携に興味を持ち、施設外就労受入や障害者就労支援施設設立へと至った。

障害のある人が担う主な仕事内容

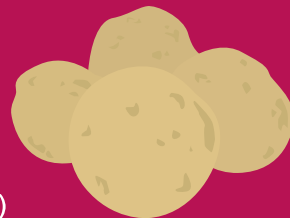
- ・ ほ場準備：つる払い, マルチ剥ぎ
- ・ 収 穫：収穫, 選別
- ・ 出荷調整：計量・袋詰め・箱詰め

農福連携に取り組んで良かったこと

- ・ 障害者の働きやすい環境の整備, 作業の段取りを考えるようになった。
- ・ 障害者と一緒に, 一斉に作業を進めることができ, 作業能率が向上した。
- ・ 障害福祉サービス事業所, 障害者にも喜んでもらっている。



【障害のある人が作業する際のポイント】 ばれいしょの収穫等



(作業内容：つる払い、マルチ剥ぎ、収穫・選別、計量・袋詰め・箱詰め)

1 つる払い



つる払い機（操作は指導員）でばれいしょのつるを払った後、障害者は、つるが残っていないか、マルチを巻き込んでいないか確認。

【ポイント】

安全に作業できるよう、機械との距離の取り方を事前にレクチャーしておく。

2 マルチ剥ぎ



障害者がマルチを巻き取る機械を操作し、マルチを除去。

【ポイント】

機械操作可能な人に依頼し、機械の安全な取り扱い方法等を事前によくレクチャーしておく。

3 収穫・選別



掘取機（操作は指導員）で掘り上げたばれいしょを障害者が拾い、規格内と規格外に選別してコンテナに入れる。

【ポイント】

規格サンプルを近くに置き、確認しながら作業してもらう。
重度の障害者でも実施可能。

4 計量・袋詰め・箱詰め



500 gを計量し、袋詰めする人、10 kgを計量し、箱詰めする人に分かれて従事。

【ポイント】

重さが一目で分かるようデジタルのはかりを使用。
袋に入れやすいようシートで袋の口を広げる。

【その他にこんな工夫もしています】

- ・ 障害者も多種多様なので、各々実施可能な作業に従事してもらっている。指導員に作業をよく理解してもらうことが重要。
- ・ 今後は、持ち運びできる選別ツールを作成予定。

⑧ 茶

【主な仕事内容】 ○ほ場管理
○被覆作業

株式会社今村製茶

住所：肝属郡錦江町神川2173-1

URL: <https://www.imamura-tea.com>



農業経営体の概要

(こだわり・理念) 生産する茶すべてに「価値」を与え「三方よし(生産者・業者・消費者)」皆を豊かにする持続可能な茶業を!

・経営面積(栽培品目・作付面積)

茶 6 ha

・従業員

役員 3 名, 繁忙期雇用 1 名

(農福連携の作業にあたっては, 施設外就労で障害者福祉サービス事業所の指導者含め基本 4 人 1 チームで来てもらっている(日により人数変動))

・施設・機械

茶工場120K1ライン, 茶摘採機, 茶防除機, 中切り機, 寒冷紗被覆機

・販売先

鹿児島県茶市場, J A 農畜産物直売所「どっ菜市場」, インターネット販売



農福連携を始めたきっかけ

茶樹の被覆作業を担ってもらっていた家族, 親戚が高齢化。子供が通っていた保育園が, 子供たちに農業体験をさせていたり, 農業に理解があったことから, 保育園を運営する大規模福祉法人に被覆作業を打診したところ, 試しにやってみることとなった。

障害のある人が担う主な仕事内容

- ・ ほ場管理: 草取り, 落葉拾い(各茶期前)
 - ・ 被覆作業: 寒冷紗被覆, 除去(1茶, 2茶)
- 茶の品質向上を図るため収穫前に行っている茶樹の寒冷紗被覆・除去作業等を障害者をお願いしている。

農福連携に取り組んで良かったこと

- ・ 施設利用者さんは, 人手不足の私たちを手助けしてくれるありがたい存在であるとともに, 個性豊かで自由な姿は, 私たちが追い求める「すべての人の幸せ」を体現されていると感じる時があります。



【障害のある人が作業する際のポイント】 茶の寒冷紗被覆・除去等



(作業内容：草取り，落葉拾い，寒冷紗被覆，パイプ運び，寒冷紗除去)

1 草取り，落葉拾い



被覆作業の前に，茶園の草取りや落葉拾いを実施。

【ポイント】

指導員に，実際取る草葉や取る位置を実演しながら障害者に指導してもらう。

2 寒冷紗被覆



被覆機械（操作は指導員）の後ろを障害者がついていき，寒冷紗を茶樹にピンチでとめる。

手作業の場合，障害者が2人1組で，茶樹に寒冷紗を被せながらピンチでとめる。

【ポイント】

作業前に，指導員に，茶樹へのとめ方やとめる位置を実演しながら障害者に指導してもらう。

3 パイプ運び（機械作業時のみ）



機械での被覆作業後，寒冷紗の巻取り軸（パイプ）を障害者が機械からはずしてほ場の脇へ運ぶ。

4 寒冷紗除去



機械が寒冷紗を巻き取って剥していくのを，障害者がピンチを茶樹からはずし，巻き取りやすいよう寒冷紗を支えて補助する（除去は機械作業のみ）。

【ポイント】

機械に追われると感じる障害者もいるため，ピンチをはずす作業を先にしておく。

【その他にこんな工夫もしています】

- ・ 色々な障害の方が実施できる作業をお願いしている。
- ・ 作業人数調整は，作業予定カレンダー (PDF) を作成し，福祉施設の指導員さんへ LINE で送っている。
- ・ 最終的な作業終了日を決め，その日の予定作業が終わらなくても残りは明日というスタンスでお願いしている。
- ・ トイレはほ場から5分以内の場所に確保している（トイレのある茶工場周辺にほ場がある）。
- ・ 商品の差別化や施設利用者のがんばりを見える化するため，ノウフクJASを取得した。
- ・ オリヒメ（障害者分身ロボット）を活用し，外出できない障害者にも商品開発に携わってもらう予定。

⑨ さつまいも

【主な仕事内容】 ○採苗 ○収穫
○選別 ○加工

有限会社西田農産

住所：西之表市西之表3703

URL: <http://nishida-grp.jp>



農業経営体の概要

(こだわり・理念) 農業で雇用と所得を生み地域に貢献する

- ・経営面積(栽培品目・作付面積)
露地野菜(さつまいも73ha)
水稲13ha ・さとうきび8ha ・その他5ha
- ・従業員
正社員 45名
臨時雇用 5名 うち、就労継続支援B型
利用者 4名、知的障害者 1名
- ・施設・機械
加工施設(蒸し芋・焼き芋・ペースト・ダイスカッ
ト)・貯蔵施設・研修施設等
- ・販売先
japan potato, 松田産業, 東海澱粉 等



農福連携を始めたきっかけ

- ・ 8年前、異業種交流会で、障害福祉サー
ビス事業所の方と知り合ったことによりス
タート。
- ・ 農家側の「収穫作業の人手不足」と福
祉施設側の「障害者雇用の場の確保」とい
うお互いの課題解決に取り組むことになっ
た。

障害のある人が担う主な仕事内容

- ・ さつまいもの採苗・収穫・選別
- ・ ほ場の雑草取り
- ・ ハウスの片づけ
- ・ 焼酎用芋の加工

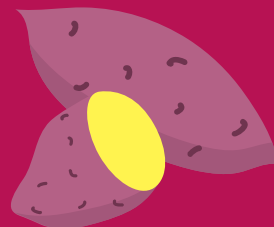
農福連携に取り組んで良かったこと

- ・ 慢性的な人手不足の解消につながっている。
- ・ 計画的な作業工程の実施により、適期適作が実現で
きている。
- ・ 経営規模の拡大につながっている。
- ・ 障害者の社会参画を支援できる。



【障害のある人が作業する際のポイント】 さつまいもの生産～加工

(作業内容：採苗・収穫・選別・加工)



1 採苗



バイオ苗を購入・植付け後、採穂を繰り返して8つのハウス(1.9ha)で育苗を行います。採苗は、社員と一緒にいき、茎が大きく、葉を5枚程度つけて採取するように指導しています。

【ポイント】

採苗した苗に病気がないか1本ずつ確認してもらいます。

基腐病が心配なので鉢は休憩や昼食時に消毒して使用します。

2 収穫



掘り起こしたさつまいもを蔓から1個ずつ切り離し小さい芋、食害や病気の芋を区別します。施設支援員に指導をお願いしています。

【ポイント】

安全な作業とさつまいもを傷めないため、容器には8割程度収穫し、二人一組で持つようお願いしています。

3 選別



見た目や臭いに気をつけながら「なり口」と「尾部」を切り取り、サイズごとに収穫容器に選別します。社員と組作業で実施しています。

【ポイント】

作業前に実演し、注意点を説明します。
鉢は休憩や昼食時に消毒して使用します。

4 加工



焼酎用芋は洗浄機で水洗いした後、傷んだ箇所を切除します。加工した原料の変色や異物は目視で取り除きます。社員と施設支援員が指導しています。

【ポイント】

焼酎用芋は土が付着している場合があるので取り除きます。

包丁を使用するので安全対策として台に置いて切り取るようにお願いしています。

【その他にこんな工夫もしています】

- ・ 通年で働いていただけるよう、生産する作物を選定し、繰り返す作業を担当してもらい、就労時間も短くしています。